

て居り、教育的利用性に富む、といふ事が擧げられて居ります、此の物語も、明らかに此にあてはまるものです。母山羊が子山羊をどういふ風にして、狼から救つたか、その心の碎き方、やり方、全く剛健敢爲であります。始めて聞くこどもは、母山羊が狼の事を豫め教へて置く爲に狼の出現を心待ちにし、狼が母山羊を装つて来る所に軽い快い恐れと興味を起し、遂ひに食へてしまふ所で絶頂に達します。扱、母山羊が歸つて来たのでどうなるでせうかと、こどもは大いに期待します。すると母山羊は敏で狼のお腹を切つて子山羊を救ふので、こども達はやれ／＼と安堵し、更に狼が石を詰められた爲水中に墜ちて死ぬ所で又氣持が高まります。此のお話は談話だけでなく、發展させて、人形芝居に見せたり、又子ども達で演習させてもよろしいと思ひます。こどもは他のせりふは忘れたり、ぬかしたりしても、以上に擧げた點は必ず觸れてゐます。そして、こどもながらも狼の地聲は若々しくしたり、母山羊を装ふ所はやさしくしたり、仲々技巧を凝らします。私達もそんなつもりで、餘り恐れを抱かせぬ様注意しつゝ、進めたいと思ひます。

「三匹の子犬の話」時計を知らぬ三匹の兄弟犬のお話です。三匹共時計がたゞチクタク／＼としかいはぬのでもどかしがり、ポーン／＼と時を打つので驚くのです。それを聞いた母犬がそれは時計といふもので便利なものだからといつて、三つはおやつの時間とか、五つはお夕飯などと教へます。そこで三匹は始めて安心するといふお話ですが、此は時間、時計についてこどもに興味を抱

かせるよいお話かと思ひます。チクタク／＼のくりかへしはこどもにとつては愉快な事であり、教育的母犬の説明もわざとらしくなく自然であります。此は六月の末の方に話す事に保育案ではなつてゐますが、時の記念日のあたりに話しても適しいと思ひます。

以上のお話は全部、日本幼稚園協會發行の談話集に出てゐるので、原文に就いて是非一度讀んで頂き、その面白さを味ひ、こども心に徹する一助にして頂きたいと思ひます。尙お話を聴く態度は大體出来て来たのですが、いたづら等せず、靜かに聴く習慣をつけたいと思ひます。それには、話し手は、その背景がこども達の氣を散らさぬ様な場所を選んで、掛けるなり、坐るなり致します。そして凡てのこどもをよう／＼見える様にいたします。話し手は豫め十分にお話の筋、性格等を呑込んでおき、極くゆつたりした氣持で子供に話し、大げさな身振り、聲色はよした方がよいと思ひます。こどもは元氣に遊ぶと共に靜かにお話を聴くのが好きです。あの話し手の心にくひ入る様な熱心な可愛い、目、口もと。あのこども達の爲には私達はお話の眞意に深く徹しなければならぬと思ひます。そこに自らよりよい話し方が出来て来る事でせう、

手 技

及 川 ふ み

欽仕事

果 物 (いちじく)

時節柄果物の材料を限定しても容易に手に入らなかつたり、又

價の點であまり高價なものなどは材料として用ひられないから適當のものでよい。果物の形が簡單で、幼児が容易にその形や色を看取する事の出来るものであればよいのである。今かりにこゝに一例として、いちごを擧げておく。

莓は鉢植として庭の狭いところでも、保育室の窓際で、手軽に栽培出来るものであるから、自由畫の材料や鉄仕事材料として早くから心がけて作つておくことよい。鉢植のない場合には莓のへたは出来るだけ色も形も損じてゐないものを選びたい。いちごの可愛らしい形や色を充分に觀察させて、幼児自身だけに形をどらせ切りぬかせて作ることにする。

莓の形を作るときは注意としては、形をあまり小さくしにくい様に特に氣をつける。

汽車

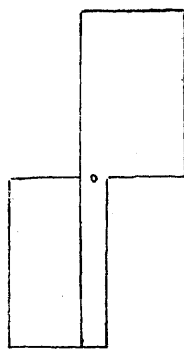
黒、茶、鼠などのじみな色を一色で、長方形で簡単な客車の形を作つて數臺の車輛と機關などを作ることにする。車は黒のクレヨンでかゝせるし煙や線路も幼児自身でクレヨンで畫くとよい。

製作

プロペラ風車 材料古はがき

古はがきを一センチだけ幅をづらせて、縦に二つ折にし、さらに幅の廣い方を中央を一センチ幅に折りかへして開く。はがきの縦の半分七センチのところを中央の一センチを残して、左側は上の半分、右側は下の半分を切り落す。羽になる二つの部分は赤或は黄色にクレヨンで塗り心棒になる部分は又これ等の色と配合の

よい色で塗る事にする。はがきの裏表ともにクレヨンで色をぬるとよい。



てんとう蟲の車

別圖でてんとう蟲の翅は地色を黒くして、圓いふを赤くしてもよいし、又反對に地色を赤くして圓いふを黒にしてもよい。

この頭庭にてんとう蟲がよくゐる時季であるから出来るだけ幼児に實物をよく觀察させて色をぬる參考にするにしよう。

臺、古はがきを綠色に全體ぬつて、縦を二センチ半づゝの高さに、兩横を折つておく。てんとう蟲の兩側のノリシロのところをみざり色に塗り、臺の側面に合せてはりつける。

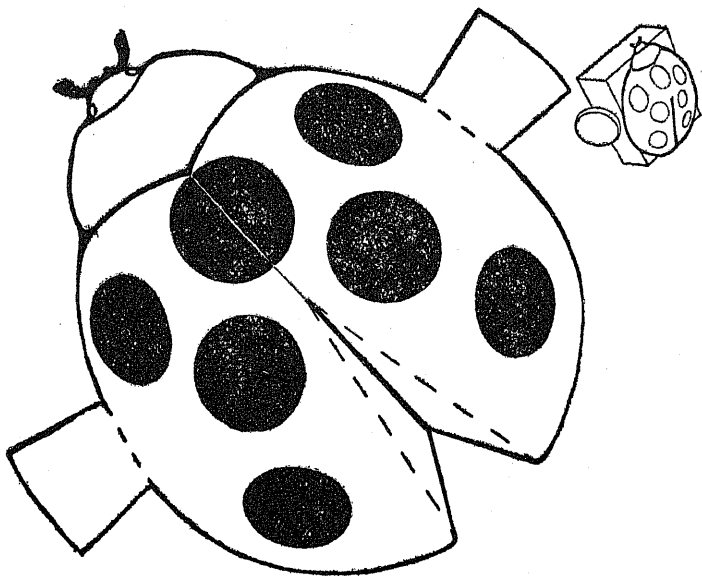
車ホルルの空箱などを利用して直徑三センチ位の圓を作り左右の車としてヒゴを通して心棒としておく。出来上つたところは綠色の草の上にてんとう蟲がゐるいてゐる形のつもりで作る。

てんとう蟲の車

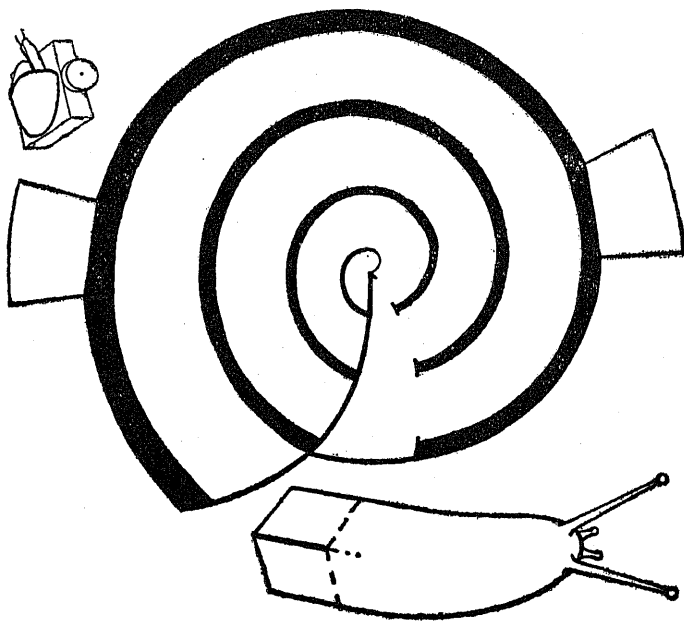
別圖のてんとう蟲のノリシロの部分のをぞき茶色にぬる。殻の横のノリシロの部分に綠色にぬるのはてんとう蟲の場合と同じである。きりこみを入れてノリシロを重ねてはり合せ笠の形を作る。

中央に穴をあけて、梧桐の實で上下をとめる。
この中央の穴はコマを作る場合とことなりゆるくあけておくとよくまはる。

てんとう蟲の車



でんでん蟲の車



頭のノリシロの部分のをぞきあと全體を黄色にぬる。下にある線を切り、開いて殻にはりつける。と立體的になる。

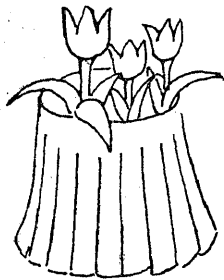
古はがきで臺をつくり、ボール紙で車をつくる事などいづれもてんとう蟲に同じ。

以上のてんとう蟲の車、でんとう蟲の車はいづれも二回或は三回の仕事の材料として充分であるから一時の仕事の分量を多すぎない様にして出来るだけ幼児たちに仕事を丁寧なさせる習慣をつける。

花かご 材料 古はがき

花かごも材料は古はがきです。はがきの全面茶色のクレヨン

花かごの圖



で塗る。幼児には色をぬらせて、かごの切り目の線は保姆が引く事にする。

色をぬつた面を内側にして、縦を二つ折りにして、輪でない方を、半センチのこして、半センチづつ、の間隔に線を畫いて幼児た

ちには線を切らせるだけさせる。この際に多少切り方が拙くて線の外にきりこみはがづれてもよい事にする。

輪の方を下にして、上の部分に別にノリシロとして紙を入れて上口を輪になる様につなぎ合せる。

畫用紙に自由畫として花を畫かせて、切りぬかせて三本位つくとて花かごの前後にはりつける。

これまで紙を材料として鉄仕事と製作との二つに區別したのは、鉄仕事は簡単に紙を切つて平面的にはるだけの事であるが製作は形を畫き、色をつけ、これを切りとつて、はり合せ組み合せて、一つのものを作るといふ意味である。

粘土

舟

普通の粘土を材料として作る。年長組の幼児の作った舟でも、保姆の作った舟でもよいから自分で形の作れないもの、ために参考にする様に出しておく。繪本の船や、おもちゃの船は幼児がまねて作るのには少し形、その他が複雑すぎて直接参考になる事はむづかしいから出来るだけ簡単な形をみせるとよい。

小さい國旗を作らせて舟にたてる。

果物 いちご りんご

果物の粘土製作には出来るだけ實物を用意して幼児にその形、その色などを充分に觀察させながら作らせる事である。

以上 鉄仕事 製作 粘土製作などの手技の材料の數種だけを擧げて見たのであるが、特別に一組の幼児たちに共通の材料とな

るものゝみを数種とり出しておつたのである。六月にもなると自由畫も數多く畫ける様になり、鉄仕事や粘土製作にもおひ／＼に興味をもつて来て、幼兒自身でも自由材料としている／＼のものを畫いたり作つたりする様になる。とり擧げた材料以外にしばしば自由材料で數多く畫かせ、數多く鉄仕事もさせ、粘土製作も度々くりかへすとよい。

こゝに又くりかへしておくが幼稚園の手法は一つの仕事に熟練するといふ事よりもいろ／＼のものを作ることを主眼として、幼兒たちを導かなくてはならない。物をつくる興味を覺えさせる事が第一肝要なことである。

誘導保育

おもちゃ屋

菊池ふじの

入園當時のごく簡単な製作として、輪つなぎ、首飾り、こま等を作るのであるが、これ等の製作品を持たせて歸すのは入園したての頃だけであつて、後々まで出来る毎にばら／＼に持たせ歸すのは何となしに教育良心が告めて苦しいのである。そこでこの簡単なそして澤山な製作に目的性を與へる爲に、おもちゃ屋とする事が一番適當である。入園當時は何もかも夢中であらうから、最初は作つたらみんなのを纏めて飾つておき、少々落ちつきの出来た五月の末頃にみんなにこの目的を話して會得させるのである。取りかゝるのは入園最初からであるが、つまり目的を持つのは丁

度保育案掲載の五月の末頃が適當であらう。

計畫 今までに出来上つてゐる三、四種のおもちゃを飾るべきお店をつくる。それには、真中をあげて兩側に机を並べ、この机に奥の方が高く店先の方を低くといふ工合に傾斜をつけるとお店らしい感じが出る。この机に、出来上つた品物をお店らしく並べる。製作するおもちゃの種類はいろ／＼と澤山あるであらうけれど、この時代に、繼續時間の餘り長いのはだれ氣を持つ様になるからいけない。先生としては、あれも作らせ度い、これもこの中に加へ度いと思ふものが澤山あるが、この度のおもちゃ屋には、手技の方にくわしく述べられてある輪つなぎ、こま、首がざり、風車、軍艦、てんとう蟲、でん／＼蟲位の種類にして、目的を持つてから二週間位の中に、活潑に、まつさとやつてしまつた方がいい。賣買遊びもごく簡単に、數の計算といふことを考へずに、丸いお金を一つ渡せば一品を買つてくれるといふ工合にする。折紙で財布を折らせて、これに各自作つたお金を入れさせておくこと喜ぶものである。

期待効果 入園當時のごく簡単な製作に目的を與へるといふことが第一の期待効果であつて、そして又この案の動機であると言つてもよい。手技としての効果は言はずもがな。社會生活の興味、陳列することによつてものゝ整理の觀念が微かながら養はれるであらうし、おもちゃ個々のものゝ觀察或はお店の觀察も微々たるものではあらうが助けられるであらう。

繼續時間 前述のやうに二週間位。